学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
ソーイングⅠ									3.5単位			
担当教員	伊澤　愛				科目区分	講義			演習		実習	100%
実務経験のある教員等による授業科目			○	経験内容	実務経験13年。大手アパレルメーカー、東京コレクション参加ブランド、個人アトリエ、オーダー衣装メーカーにてパタンナーを経験。現在もフリーランスの外注パタンナーとしてパターンやオーダーの衣装制作を行い、研鑽を積んでいる。							
授業との関連性	アパレルメーカーのパタンナーとして培った知識や技術を活かし、実用性の高い衣服製作のプロセスを指導。様々なメーカーでの経験を活かし、学生のアイデンティティを引き出しクリエイティブな作品製作ができるよう指導する。											
授業目的	・課題作品の制作を通してデザイン発想のプロセスを体験する。											
	・衣服製作の応用テクニック習得し、作品の精度やパターンメーキング、縫製技術を身に付ける。											
到達目標	・立体裁断と平面製図を併用したファーストパターンから工業用パターンを作成できるようになる。											
	・素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作ができるようになる。											

授業概要

サマーファッションコンテストのクリエイティブな作品作りを通してデザインから制作までの服づくりの大変さや楽しさを体験する。デザインや素材によるパターンや仕様の違いを知り、理解し、縫製テクニックを修得する。

時期	コマ数	授業内容（授業展開）	
4月	18	【サマーファッションコンテスト作品2体】 （春休み中にデザイン、素材決めておく） 平面製図/立体裁断によるパターン作成	【裏無しジャケット】 パターンチェック トワルチェック
5月	22	工業用パターン完成 裁断・芯貼り 縫製開始～7/上旬完成	工業用パターン 裁断・芯貼り 部分縫い 縫製開始～7/下旬完成
6月	24	・各自の作業工程スケジュール表を作成 ・デザイン画を立体へ ・デザインに合わせた素材研究 ・仕様、縫製工程を考慮したパターンメイキング ・素材に合わせた裁断、縫製	
7月	20	サマコンのディテールを使った小物アイテムを作成	
8月		夏季休暇　パターン検定2級　模擬試験	
9月	14	【コート・マチ作品】準備	

留意事項	サマコン2体のディテールを使って小物やアクセサリーを自由に製作する 【例】帽子、ヘッドアクセ、バッグ、巾着、オブジェなど
教材、資料等	文化ファッション体系『ジャケット・ベスト』、『コート・ケープ』 ヒロ・デザインジャケット冊子、その他資料
評価方法 対象・比重	・制作物70%・提出物（レポート含む）10%・取組姿勢20% *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
ソーイングⅠ									3.5単位			
担当教員	伊澤　愛				科目区分	講義			演習		実習	100%
実務経験のある教員等による授業科目			○	経験内容	実務経験13年。大手アパレルメーカー、東京コレクション参加ブランド、個人アトリエ、オーダー衣装メーカーにてパタンナーを経験。現在もフリーランスの外注パタンナーとしてパターンやオーダーの衣装制作を行い、研鑽を積んでいる。							
授業との関連性	アパレルメーカーのパタンナーとして培った知識や技術を活かし、実用性の高い衣服製作のプロセスを指導。様々なメーカーでの経験を活かし、学生のアイデンティティを引き出しクリエイティブな作品製作ができるよう指導する。											
授業目的	・課題作品の制作を通してデザイン発想のプロセスを体験する。											
	・衣服製作の応用テクニック習得し、作品の精度やパターンメーキング、縫製技術を身に付ける。											
到達目標	・立体裁断と平面製図を併用したファーストパターンから工業用パターンを作成できるようになる。											
	・素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作ができるようになる。											

授業概要

クリエイティブな作品作りを通してデザインから制作までのモノづくりの大変さや楽しさを体験する。デザインや素材によるパターンや仕様の違いを知り、理解し、縫製テクニックを習得する。

時期	コマ数	授業内容（授業展開）
10月	24	【コート・マチ作品】 平面製図によるパターン作成 パターンチェック トワルチェック 工業用パターン完成 裁断・芯貼り 縫製開始～12/中旬完成 【オリジナルショップ】 コンセプト・企画・デザイン
11月	20	
12月	20	コート・マチ作品の残布を使った小物アイテムを作成 【オリジナルショップ】5～10アイテム パターンチェック
1月	24	トワルチェック 工業用パターン 裁断・芯貼り 縫製開始～3/上旬完成
2月	22	
3月	10	オリジナルショップ

留意事項	残布を使って小物やアクセサリーを自由に製作する【例】帽子、ヘッドアクセ、バッグ、巾着
教材、資料等	文化ファッション体系『ジャケット・ベスト』、『コート・ケープ』 ヒロ・デザインジャケット冊子、その他資料
評価方法 対象・比重	・制作物70%・提出物（レポート含む）10%・取組姿勢20% *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
ドレーピングⅠ									1単位			
担当教員	伊澤　愛				科目区分	講義			演習		実習	100%
実務経験のある教員等による授業科目			○	経験内容	実務経験13年。大手アパレルメーカー、東京コレクション参加ブランド、個人アトリエ、オーダー衣装メーカーにてパタンナーを経験。現在もフリーランスの外注パタンナーとしてパターンやオーダーの衣装制作を行い、研鑽を積んでいる。							
授業との関連性	アパレルメーカーのパタンナーとして培った知識や技術を活かし、実用性の高い衣服製作のプロセスを指導。様々なメーカーでの経験を活かし、学生のアイデンティティを引き出しクリエイティブな作品製作ができるようサポートする。											
授業目的	・基礎を理解し、立体裁断で基本的なシルエットを出す知識と技術の修得。											
	・ドレーピングの表現テクニックを向上させ、応用力を身に付ける。											
到達目標	・イメージをシルエットで表現し、完成度の高い形に具現化できるようになる。											
	・平面構成と立体構成を併用する理論と技術を習得し作品を制作する。											

授業概要

立体裁断の応用。立体だからこそ可能な複雑なデザインに挑戦。平面構成と立体裁断を併用し、ダーツ展開や見返しの構造、身体から離れたデザインの作り方やパターンテクニックについて学ぶ。ファッションデザインにおいて自由な創造力と発想力、そしてその表現テクニックを向上させる。

時期	コマ数	授業内容（授業展開）
4月	4	アンダーバスト切替のギャザー ・胸ぐせダーツのギャザー展開
5月	8	サイドネックからのドレープ ・胸ぐせダーツのドレープ展開 胸元のドレープ ・胸ぐせダーツのドレープ展開、バイアス使い
6月	8	竹の子　・胸ぐせダーツの展開、1枚の布から重なるタック 結ぶ　・切り開いて伸ばしたボーを結ぶ ドレープ　・左右に身頃を交差させたドレープ ジャケット ・3面構成
7月	6	ジャケット ・4面構成
8月		夏季休暇　パターン検定2級　模擬試験
9月	4	かくれんぼ ・隠れたフレアー

留意事項	
教材、資料等	文化ファッション体系 立体裁断 基礎編、文化ファッション体系 立体裁断 応用編、パターンマジック全集 文化出版局、VIONNET 副読本 文化出版局、その他資料コピー
評価方法 対象・比重	・立体裁断トワル・パターン60%・テスト30%・取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
ドレーピングⅠ									1単位			
担当教員	伊澤　愛				科目区分	講義		演習		実習	100%	
実務経験のある教員等による授業科目			○	経験内容	実務経験13年。大手アパレルメーカー、東京コレクション参加ブランド、個人アトリエ、オーダー衣装メーカーにてパタンナーを経験。現在もフリーランスの外注パタンナーとしてパターンやオーダーの衣装制作を行い、研鑽を積んでいる。							
授業との関連性	アパレルメーカーのパタンナーとして培った知識や技術を活かし、実用性の高い衣服製作のプロセスを指導。様々なメーカーでの経験を活かし、学生のアイデンティティを引き出しクリエイティブな作品製作ができるよう指導する。											
授業目的	・基礎を理解し、立体裁断で基本的なシルエットを出す知識と技術の修得。											
	・ドレーピングの表現テクニックを向上させ、応用力を身に付ける。											
到達目標	・イメージをシルエットで表現し、完成度の高い形に具現化できるようになる。											
	・平面構成と立体構成を併用する理論と技術を習得し作品を制作する。											

授業概要

立体裁断の応用。立体だからこそ可能な複雑なデザインに挑戦。平面構成と立体裁断を併用し、ダーツ展開や見返しの構造、身体から離れたデザインの作り方やパターンテクニックについて学ぶ。ファッションデザインにおいて自由な創造力と発想力、そしてその表現テクニックを向上させる。

時期	コマ数	授業内容（授業展開）
10月	8	ギャザー入りフレンチスリーブ ・ギャザーバリエーション カシュクールブラウス ・ドレープバリエーション
11月	8	ジオメトリック ・図形の再構築
12月	8	デコレーションの仕組み ・ノット・見返ししだい 消える ・ディテールの一部を消す
1月	6	華麗な細工 ・削って開く ・多面体
2月	6	バイアスカットの作品 ・マドレーヌ・ヴィオネ
3月	4	ピンワーク

留意事項	
教材、資料等	文化ファッション体系 立体裁断 基礎編、文化ファッション体系 立体裁断 応用編、パターンマジック全集 文化出版局、VIONNET 副読本 文化出版局、その他資料コピー
評価方法 対象・比重	・立体裁断トワル・パターン60%・テスト30%・取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
パターンメーキングⅠ									5単位			
担当教員	井手　真由				科目区分	講義	100%		演習		実習	
実務経験者の授業科目			○	経験 内容	経験年数:3年　業務内容:レディースアパレルメーカー。婦人服アパレルメーカー、ニット・カットDIVにて企画デザイナー及び生産管理業務に従事。アパレル衣料の企画製作、商社。海外生産等で培った実践的な企画・デザイン、縫製技術、衣服の取扱い等を活かし、指導する。							
授業との関連性	パターンメーキングの基礎を基に、各アイテムの基本製図方法～応用展開を指導。 企業で求められる多種多様な衣料のデザインに対応したパターン能力を修得する。											
授業目的	・基本的なパターン作成、展開の理論を理解し、各自デザインに合ったパターン作成ができるようになる。											
	・素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作を理解し応用できるようになる。											
到達目標	・パターンメーキング技術検定2級レベルのパターン能力の習得。											
	・素材、デザイン、ターゲットに合ったパターン作成、展開、応用力を身に付ける。											

授業概要

常に身体の動き、構造からなる機能性の面とシルエット、見た目からなる美しさの両面からの美を意識したパターン作成を行うことで、理解を深め、応用力を身に付ける。

時期	コマ数	授業内容
4月	9	【ハイネックの基本講座】
		【フード、フード応用】 フードの基本的な構造～パターン作成を学ぶ。 またフードの応用パターン作成方法を学ぶ。
5月	11	【様々な袖を作る上で腕の構造理解】 袖山の傾斜の機能を学ぶ。シャツ袖、セットインスリーブ
		【ラグランスリーブについて】 【裏無しジャケットの基本構造を知る】 縫い代始末方法、縫製、グレードによる縫製の違いについて理解する。
		【グレーディングの基礎】 ・グレーディングとは既製服の寸法JIS規格サイズ、ピッチ数ネスト図 ・ピッチ式グレーディング （身頃、袖、襟、スカート、パンツ、ジャケット、その他のアイテム）
6月	12	【きものスリーブ】 【まち入りスリーブ】 基本の製図から、応用パターン 【ドルマンスリーブ】 【エポレットスリーブ】 【襟応用デザイン】
7月	7	
		【コートのパターン、仕様の理解】 ルダンゴト、トレンチコート、ダッフルコート、Pコート 仕様について 各自デザインのコートパターン作成
9月	5	
		【応用デザイン】 様々なデザインのパターンを理解する事で各自の応用パターン作りができるようになる。

留意事項	授業後はノートまとめ、復習をし、理解を深めることとする
教材、資料等	文化ファッション体系『ジャケット・ベスト』、『スカート・パンツ』 ヒロ・デザインジャケット冊子、その他資料
評価方法 対象・比重	・テスト70%・提出物（レポート含む）20%・取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
パターンメーキングⅠ									5単位			
担当教員	井手　真由				科目区分	講義	100%		演習		実習	
実務経験者の授業科目			○	経験 内容	経験年数:3年　業務内容:レディースアパレルメーカー。婦人服アパレルメーカー、ニット・カットDIVにて企画デザイナー及び生産管理業務に従事。アパレル衣料の企画製作、商社。海外生産等で培った実践的な企画・デザイン、縫製技術、衣服の取扱い等を活かし、指導する。							
授業との関連性	パターンメーキングの基礎を基に、各アイテムの基本製図方法～応用展開を指導。 企業で求められる多種多様な衣料のデザインに対応したパターン能力を修得する。											
授業目的	・基本的なパターン作成、展開の理論を理解し、各自デザインに合ったパターン作成ができるようになる。											
	・素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作を理解し応用できるようになる。											
到達目標	・パターンメーキング技術検定2級レベルのパターン能力の習得。											
	・素材、デザイン、ターゲットに合ったパターン作成、展開、応用力を身に付ける。											

授業概要

常に身体の動き、構造からなる機能性の面とシルエット、見た目からなる美しさの両面からの美を意識したパターン作成を行うことで、理解を深め、応用力を身に付ける。

授業内容(授業展開)

時期	コマ数	授業内容
10月	14	【まち裏について】 きものスリーブ、まち入りの裏パターンの理論～基本的なまち入りの裏パターン作成を学ぶ 【ケープ】 ・ケープについて(形態、構造)～ケープの基本的なパターン作成方法を学ぶ
11月	12	【ニットについて】 種類・特性・扱い方 ニットの編地、特性を知る*ニットパターンの考え方の理解 【パンツ】裏パターンの考え方
12月	12	【皮革について】⑥種類・特性・扱い方 【毛皮について】③　種類・特性・扱い方
1月	7	【レースについて】④　種類・特性・扱い方 【フォーマルウェアについて】
2月	9	【子供服】 体型の違いによるパターン変化 商品としてのパターン製作 ＊オリジナルショップ商品パターン作成 　5～10着
3月	6	後期テスト

留意事項	
教材、資料等	文化ファッション体系『ブラウス・ワンピース』『ジャケット・ベスト』 その他資料
評価方法 対象・比重	・テスト70%・提出物(レポート含む)20%・取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
アパレル品質論									1単位			
担当教員	井手　真由				科目区分	講義	90%		演習		実習	10%

実務経験者の授業科目	○	経験 内容	経験年数:3年　業務内容:レディースアパレルメーカー。婦人服アパレルメーカー、ニット・カットDIVにて企画デザイナー及び生産管理業務に従事。アパレル衣料の企画製作、商社。海外生産等で培った実践的な企画・デザイン、縫製技術、衣服の取扱い等を活かし、指導する。

授業との関連性	アパレル製品に求められる品質について指導。 企業で求められる多種多様な衣料のデザインに対応した品質管理を修得する。
授業目的	アパレル製品の多様化に対応するため、適切な素材の選択・縫製・仕立映えの評価ができるようになる。 消費者に満足感を抱かせる内容の理解と製品化した洋服の取り扱いとアフターケアについて学ぶ。
到達目標	アパレル製品の取り扱いを含むメリット・デメリットの特性を理解し、品質向上に留意できるようになる。 縫製の良し悪し、価格帯の違いなど素材との関連性を理解する。

授業概要

教材を基に座学で習得した知識を実践方式で実習を行う。「知る」から「できる」への実習を行い、理解力を深める。

授業内容(授業展開)

時期	コマ数	授業内容
4月	1	アパレル製品に求められる品質と機能
	2	管理について…管理とは何なのか、管理の必要性について(管理が必要となった背景を含め理解する) 品質管理とは…PDCA　品質検査基準ガイドラインについて) 生産管理とは…品質評価について 上衣、下衣、ニット製品など各アイテムのチェックポイント
	1	消費者、小売における品質　染色堅牢度　　形態安定性
5月	2	品質表示 　家庭用品品質表示法に基づく繊維製品の品質表示
	1	・繊維の組成表示・家庭洗濯等取扱方法
	1	・繊維の組成表示・家庭洗濯等取扱方法　・表示者名・混用率・絵表示の理解
6月	1	洗濯実習・・・染み抜き、汚れ落としの洗濯実習
	2	原産国表示 ・実際の商品表示　・PL法・薬事法・JISサイズ表示　・国内、国外のサイズ表記 アパレル製品の取り扱い・手入れ　・耐洗濯性
	1	汚れと洗浄過程　　繊維、製品に適した洗剤
	1	洗剤と耐光性　　ドライクリーニングと家庭洗濯
7月	1	アイロン、漂白、増白、しみ抜き
	2	洗濯・アイロン実習②
		アパレル製品の保管　　・保管の条件・保管の方法
9月	1	商品の保証について　クレームについて
	1	クレーム対策　取扱い注意事項
	1	製品の品質保証

留意事項	
教材、資料等	教科書:ファッションビジネス2級 資料:アパレル生産管理、アパレル品質管理、生産企画、品質企画、繊研新聞 　　プリント対応
評価方法 対象・比重	後期評価テスト70%、小テスト及び提出物20%、取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
生産管理									1単位			
担当教員	井手　真由				科目区分	講義	90%		演習	10%	実習	
実務経験者の授業科目			○	経験 内容	経験年数:3年　業務内容:レディースアパレルメーカー。婦人服アパレルメーカー、ニット・カットDIVにて企画デザイナー及び生産管理業務に従事。アパレル衣料の企画製作、商社。海外生産等で培った実践的な企画・デザイン、縫製技術、衣服の取扱い等を活かし、指導する。							
授業との関連性	アパレル製品を生産する上での生産管理ついて指導。 企業・市場で求められる多種多様な衣料のデザインに対応した生産管理を修得する。											
授業目的	アパレル業界における生産管理の必要性とその管理の目的を理解する											
到達目標	PDCAを理解し、何事においても自分で計画、行動し、その結果の検討、処置が出来るようになる。											
	常に問題意識を持ち、原因追及、対処が自分で考えられるようになる											

授業概要

教材を基に座学で習得した知識を実践方式で実習を行う。「知る」から「できる」への実習を行い、理解力を深める。
オリジナルショップの生産管理を演習として入れ、商品管理、品質管理を演習を通してより理解する

授業内容(授業展開)

時期	コマ数	授業内容
10月	1	管理とは何なのか、生産管理の必要性について(管理が必要となった背景を含め理解する)
	2	アパレル業界の生産構造と機能について アパレル業界仕事について(種類、役割について理解を深める)
	1	アパレル生産の流れ(企画から生産、流通への一連の流れについて)生産と物流
11月	2	商品化計画(商品を作る流れと生産管理の役割) アパレル生産管理、素材調達管理 物流、SCMについて
	1	管理のサークルについて(PDCAの考え方を理解する
	1	生産管理の実務(アパレル生産工場、日本の生産背景など)
12月	1	生産管理と品質管理について(生産、環境問題、安全性に関して)
	1	原価について(どのようにして原価が決まるのか、原価の構造について)
1月	1	販売の面から見た品種と品質について(グレードの違いを理解)
	1	納品とクレームについて
	1	PD　生産の面から見た生産管理　(工場の選定や素材調達、原価交渉、納期管理等)
2月	4	演習　オリジナルショップ 商品管理　(製品の管理方法、管理表の作成) 品質管理　(家庭用品品質表示法に基づく繊維製品の品質表示管理、表示者名・混用率・絵表示の理解、管理表の作成) 管理表に基づく、オリジナルショップタグ製作 商品の検品・検針・納品準備
3月	1	後期評価テスト
	1	「生産管理・品質管理」まとめと検査・検品について

留意事項	
教材、資料等	教科書:ファッションビジネス2級 資料:アパレル生産管理、アパレル品質管理、生産企画、品質企画、繊研新聞 プリント対応
評価方法 対象・比重	後期評価テスト70%、小テスト及び提出物20%、取組姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
デザイン画									1単位			
担当教員	吉永　あすか				科目区分	講義	10%		演習		実習	90%
実務経験者の授業科目			○	経験 内容	ウエディング衣装店にてチーフデザイナー、ドレス制作などを経て、オーダーメイド衣装デザイナーとして独立後、ウエディングドレス、舞台衣装、テーマパークユニフォーム、舞台美術デザイン、ヘアメイクなどのデザイン、制作をフリーランスで行っている。							
授業との関連性	上記で培った経験を生かし、デザイン画においての色彩感覚や着色方法、トータルバランス、魅せ方などの知識、技術を教授する											
授業目的	ファッションドローイングの応用技術を高め、独自のアイディア表現のまとめ方の習得											
到達目標	コンセプトやテーマを明確に意識したデザイン展開の習得											

授業概要

コンクールやコンテストへの挑戦を通して、作品制作における自己との対話を重視し、個々の表現をサポートします。自分自身と向き合うことで、描きたいものや世界観を明確にし、コンセプトに基づいたデザイン力を育成します。

時期	コマ数	授業内容（授業展開）
4月	3	・各種コンクール・コンテスト作品 装苑賞 YKK ファスニングアワード ナゴヤ ファッションコンテスト 日暮里 ファッションデザインコンテスト 全国ファッションデザインコンテスト Book OFF Re Clothes Cup 千年大賞 文化連鎖校コンクール 全国服飾学校ファッション画コンクール など ・作品を通して学ぶこと 動きのあるポージングの描き方 様々な裁縫技法の描き方 デザイン展開の練習 アイテム画の練習 ・夏季休暇課題についての説明
5月	4	
6月	4	
7月	3	
9月	3	・引き続き各種コンクール・コンテスト作品
留意事項		
教材、資料等		・文化ファッション大系服飾関連専門講座⑤ファッションデザイン画 ・自作ファイル
評価方法 対象・比重		・提出作品70％・提出状況15％・取組姿勢15％ *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点） 良（79～70）（GP 2点）、可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須選択		学年	2	年	学期	前期		後期	○

授業科目名	単位
デザイン画	1単位

実務経験者の授業科目	○	経験内容	ウエディング衣装店にてチーフデザイナー、ドレス制作などを経て、オーダーメイド衣装デザイナーとして独立後、ウエディングドレス、舞台衣装、テーマパークユニフォーム、舞台美術デザイン、ヘアメイクなどのデザイン、制作をフリーランスで行っている。

授業との関連性	上記で培った経験を生かし、デザイン画においての色彩感覚や着色方法、トータルバランス、魅せ方などの知識、技術を教授する

担当教員	吉永　あすか	科目区分	講義	10%	演習		実習	90%

授業目的	ファッションドローイングの応用技術を高め、独自のアイデア表現のまとめ方の習得
到達目標	コンセプト、テーマを明確に意識したデザイン展開と表現の習得

授業概要

コンクールやコンテストへの挑戦を通して、作品制作における自己との対話を重視し、個々の表現をサポートします。自分自身と向き合うことで、描きたいものや世界観を明確にし、コンセプトに基づいたデザイン力を育成します。

時期	コマ数	授業内容（授業展開）
10月	4	・各種コンクール・コンテスト作品 ・マイコレクション （独自のコンセプト、テーマを考え、D画・アイテム画・素材をまとめる） ※基になるスタイル3体
11月	5	
12月	2	・マイコレクションから更にデザイン展開したD画を描く ※基になる3体から更に6体
1月	4	
2月	3	・ポートフォリオ作成 これまでの作品を、デザイン資料として 次学年でも活用できるように ファイルにまとめる ・一年間のまとめ
3月	2	

留意事項	
教材、資料等	・文化ファッション大系服飾関連専門講座⑤ファッションデザイン画 ・自作ファイル
評価方法 対象・比重	・提出作品70％・提出状況15％・取組姿勢15％ *試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点） 良（79～70）（GP 2点）、可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
企画									2単位			
担当教員	原賀　友子				科目区分	講義	40%	演習		実習	60%	
実務経験のある教員等による授業科目			○	経験内容	経験年数;10年　広告、イベントを中心としたスタイリングに従事。経験年数;32年　パーソナルカラーを取り入れたパーソネルコーディネートのセミナー開催とフォローアップ。経験年数;30年　カラー、基礎デザイン、マーケティング、服装史等のの講師実績。							
授業との関連性			実務経験を通して培った、リサーチやデザイン、コーディネート発想の指導をもとに、学生独自の作品制作に反映出来るよう企画をブラッシュアップさせる。									
授業目的	企画書、ポートフォリオの作成に必要なプロセスを理解し、基本のスキルを習得する。											
到達目標	企画に必要なリサーチと分析を行った上で、企画書を作成し、プレゼンテーションができる。											

授業概要

参考プリントを元に理論やプロセスの講義を行い、その後各自のオリジナルな発想を重視しながら実習を行う。
各々の特性や進行状況に応じて、基本を踏まえつつ、独自のスキルアップにつながる指導を行う。
また、発想や意向について出来るだけ細かく打ち合わせを行うことで、コミュニケーションのスキルアップを目指す。

時期	コマ数	授業内容（授業展開）	
		＜講義＞	＜実習＞
4月	9	●企画書、ポートフォリオ、ボード、リサーチについて ●トレンド分析　A／Wコレクション分析 （デザインの潮流、シルエット、色、柄、素材、ディテール、アイテムなど） ・トレンドの種類 （メガトレンド、ジェネラルトレンド、コレクショントレンド、マーケットトレンド）	＊トレンド分析レポート作成 ・AWコレクション分析
5月	12		・トレンド検証 現SS マーケットトレンドリサーチ 次SS コレクショントレンドの予測 コレクショントレンドの潮流 ＊注目トレンドのリサーチとレポート、プレゼンテーション準備
6月	12		
7月	9		＊プレゼンテーション トレンド分析ファイル提出
9月	9	＜期末テストテスト＞ ●ブランドとは （コンセプト、イメージターゲット、ペルソナ）	＊クラスターリサーチ ＊ターゲットライフスタイル分析 ＊ペルソナ分析準備

留意事項	各自作業スケジュールを立てて、課題研究の時間は自習体制で進める。
教材、資料等	・プリント資料　・ファッション販売3、2 ・ファッションビジネス〔Ⅰ〕改訂版　・ファッションビジネス2級
評価方法 対象・比重	・評価テスト40％　・提出物50％　・取り組み姿勢10％ ＊試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
企画									2単位			
担当教員	原賀　友子				科目区分	講義	40%	演習		実習	60%	
実務経験のある教員等による授業科目			○	経験内容	経験年数;10年　広告、イベントを中心としたスタイリングに従事。経験年数;32年　パーソナルカラーを取り入れたパーソネルコーディネートのセミナー開催とフォローアップ。経験年数;30年　カラー、基礎デザイン、マーケティング、服装史等のの講師実績。							
授業との関連性	実務経験を通して培った、リサーチやデザイン、コーディネート発想の指導をもとに、学生独自の作品制作に反映出来るよう企画をブラッシュアップさせる。											
授業目的	企画書、ポートフォリオの作成に必要なプロセスを理解し、基本のスキルを習得する。											
到達目標	企画に必要なリサーチと分析を行った上で、企画書を作成し、プレゼンテーションができる。											

授業概要

参考プリントを元に理論やプロセスの講義を行い、その後各自のオリジナルな発想を重視しながら実習を行う。
各々の特性や進行状況に応じて、基本を踏まえつつ、独自のスキルアップにつながる指導を行う。
また、発想や意向について出来るだけ細かく打ち合わせを行うことで、コミュニケーションのスキルアップを目指す。

時期	コマ数	授業内容（授業展開）	
		＜講義＞	＜実習＞
10月	12	●ブランド企画 ・ターゲットの設定 ・ブランドコンセプトの設定 ・ペルソナ分析と設定	＊ブランド企画ファイル制作 ・ブランド名 ・ブランドコンセプト設定 ・ターゲット設定 ・ペルソナ分析 ・ブランドテイストの設定
11月	9	●トレンド分析　S/Sコレクション分析 （テーマ、シルエット、色、柄、素材、ディテール、アイテムなど）	＊トレンド分析レポート作成 ・SSコレクショントレンドリサーチ ・SSコレクショントレンドと予測の検証 ・現AW マーケットトレンドリサーチ ・次SSコレクショントレンドの予測 ・コレクショントレンドの潮流
12月	9		＊注目トレンドのリサーチとレポート、プレゼンテーション準備 ＊プレゼンテーションとファイル提出
1月	12	●シーズンサイクルとMD企画 ●アイテム展開とコーディネートイメージ	・シーズンテーマの設定 ・コーディネート図3体 ・アイテム展開と解説
2月	9	＜期末テスト＞	・プレゼンテーション準備 ＊ブランド企画のプレゼンテーションファイル提出
3月	6		

留意事項	各自作業スケジュールを立てて、課題研究の時間は自習体制で進める。
教材、資料等	・プリント資料　・ファッション販売3、2 ・ファッションビジネス〔Ⅰ〕改訂版　・ファッションビジネス2級
評価方法 対象・比重	・評価テスト40%　・提出物50%　・取り組み姿勢10% ＊試験、課題製作物とも優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科、 ファッションビジネス科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
英会話									1単位			
担当教員	嶋田 ローズ 有華				科目区分	講義	20%		演習	80%	実習	
実務経験者の授業科目			○	経験 内容	経験年数:10年　公官庁の通訳、英語講座エンジョイ英会話を立ち上げ、中学校の臨時教師、ALTを務める。							
授業との関連性	日本での通訳や英語教師の経験を活かして、日常で使う英会話からビジネス英会話まで幅広く指導を行い国際言語を通して世界を広げる。											
授業目的	・自信を持ち楽しみながら英会話を学ぶ。											
到達目標	・ファッションに関連した言葉や、基本的なコミュニケーションフレーズを覚えて使えるようになる。											

授業内容(授業展開)		
時期	コマ数	授業内容
4月	2	自己紹介・ファッション用語(ファッションアイテム・柄)・感想や印象を述べる
5月	4	単語(色・アメリカ英語とイギリス英語の違い)・基本的な英会話の学習・自分の服の素材の説明
6月	4	動画視聴・ディクテーション学習・質問練習
7月	3	動画作成・プレゼンテーション
9月	3	テスト
留意事項		
教材、資料等		適宜準備
評価方法 対象・比重		・評価テスト80%・取組姿勢20% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	必須選択		学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
英会話									1単位			
担当教員	嶋田 ローズ 有華				科目区分	講義	20%		演習	80%	実習	
実務経験者の授業科目			○	経験内容	経験年数:10年　公官庁の通訳、英語講座エンジョイ英会話を立ち上げ、中学校の臨時教師、ALTを務める。							
授業との関連性	日本での通訳や英語教師の経験を活かして、日常で使う英会話からビジネス英会話まで幅広く指導を行い国際言語を通して世界を広げる。											
授業目的	・自信を持ち楽しみながら英会話を学ぶ。											
到達目標	・ファッションに関連した言葉や、基本的なコミュニケーションフレーズを覚えて使えるようになる。											

授業内容(授業展開)

時期	コマ数	授業内容
10月	3	観光用語、英語コミュニケーション問題、海外・国内の観光と文化の問題
11月	4	写真説明、英語コミュニケーション、観光旅行事情の問題
12月	4	英検対策、長文、ロールプレイ
1月	2	英検対策、過去問、面接練習
2月	3	作文「スクールイベント」、プレゼンテーション
3月	3	後期テスト
留意事項		
教材、資料等		適宜準備
評価方法 対象・比重		・評価テスト80%・取組姿勢20% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2・3	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
特別講義									1単位			
担当教員	特別講義関連講師				科目区分	講義	90%		演習		実習	10%
授業目的	・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける ・美的感覚、感性を養う為に美術館等で様々な物を鑑賞する ・様々なライフスタイルの方々を講師に招き、企画やプランニングを行なう為に必要な知識を学ぶ											
到達目標	アパレルだけでなく社会人としての知識の幅を広げ、身に付けた知識、教養を各自のデザイン創造、企画等に活かすことが出来るようになる。 様々なアートを見て、触れて本物を見る目を養う。											

授業概要
教材を基に座学で習得する知識だけでなく、アパレル分野に限らず様々な知識を特別講義関連講師より学ぶ。「知る」を増やし、様々なアートに触れ、感性を養う。

授業内容(授業展開)		
時期	コマ数	授業内容
4月	1	キャリア教育講習①
	1	校外研修事前説明会
	1	校外研修
5月	1	学生実行委員会に関する説明会・オリエンテーション
	1	キャリア教育講習②
	1	DVD鑑賞 「ファッション関連」
	1	大掃除
6月	1	特別講義 （業界にて活躍中の卒業生によるセミナー、特別講師　デザイナーによる授業等）
	1	キャリア教育講習③
	1	大掃除
	1	毛皮セミナー
7月	1	サマーファッションコンテスト事前審査会
	1	キャリア教育講習④
	1	サマーファッションコンテスト事前準備・リハーサル
9月	1	キャリア教育講習⑤
	1	一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して　等)
	1	大掃除
留意事項		一般常識についてのセミナーは特別支援相談・不動産・キャリアプラン・年金・保険・アクティブラーニング・精神、心の病・論理的思考について・就職関係・薬物乱用防止・繊研新聞社セミナー等、その都度学生に必要とする講義を実施。
教材、資料等		
評価方法 対象・比重		レポート・提出物等80%、取組姿勢・出欠20% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°（89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	2・3	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
特別講義									1単位			
担当教員	特別講義関連講師					科目区分	講義	90%	演習		実習	10%
授業目的	・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける ・美的感覚、感性を養う為に美術館等で様々な物を鑑賞する ・様々なライフスタイルの方々を講師に招き、企画やプランニングを行なう為に必要な知識を学ぶ											
到達目標	アパレルだけでなく社会人としての知識の幅を広げ、身に付けた知識、教養を各自のデザイン創造、企画等に活かすことができるようになる。 様々なアートを見て、触れて本物を見る目を養い感性を伸ばす。											

授業概要

教材を基に座学で習得する知識だけでなく、アパレル分野に限らず様々な知識を特別講義関連講師より学ぶ。「知る」を増やし、様々なアートに触れ、感性を養う。

授業内容(授業展開)

時期	コマ数	授業内容
10月	1	中・高校性ファッション画コンテスト　表彰式事前準備及びリハーサル
	1	特別講義　(業界にて活躍中の卒業生によるセミナー、特別講師　デザイナーによる授業等)
	1	大掃除
11月	1	美術鑑賞(美術館等の展覧会鑑賞、観覧前セミナー)
	1	DVD鑑賞　「ファッション関連」
	1	一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して　等)
	1	大掃除
12月	1	国内・海外研修に関して事前説明会
	1	DVD鑑賞　「ファッション関連」
	1	大掃除
1月	1	美術鑑賞(美術館等の展覧会鑑賞、観覧前セミナー)
	1	一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して　等)
	1	大掃除
2月	1	就職関係　(企業セミナー、Jobカードセミナー等)
	1	DVD鑑賞　「ファッション関連」
	1	大掃除
3月	1	学生実行委員会に関して　次年度に向けた移行準備
	1	一般常識(電気・エネルギーに関して、金融に関して、選挙に関して、薬物に関して　等)
留意事項		一般常識についてのセミナーは特別支援相談・不動産・キャリアプラン・年金・保険・アクティブラーニング・精神、心の病・論理的思考について・就職関係・薬物乱用防止・繊研新聞社セミナー等、その都度学生に必要とする講義を実施。
教材、資料等		
評価方法 対象・比重		レポート・提出物等80%、取組姿勢・出欠20% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°　(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	1・2・3・4	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									単位			
イベント・学校行事									1単位			
担当教員	関連講師					科目区分	講義	5%	演習		実習	95%
授業目的	・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける ・イベントや行事実施にあたって必要とされる企画・準備・実施を通し、社会性・協調性を身に付ける。 ・学校行事の運営を通して職業人としての責任と自信を涵養。											
到達目標	・担当、役割に応じた運営を行い、学科・学年を超えてコミュニケーションを取り合い、イベント・行事を成功へと導く。											

授業概要
習得した知識を実践方式で実習を行う。「知る」から「できる」への実習を行い、理解力を深める。 各行事・イベント毎に担当・指導する講師のもと、各自が自分で考え報・連・相を取りながら実習を行う。

授業内容（授業展開）	
時期	授業内容
4月	校外研修事前説明会及び学科・学年を超えたコミュニケーション
	校外研修
	校外研修
5月	学生実行委員会に関する説明会・オリエンテーション
	各学生実行委員毎に年間スケジュール計画
	各学生実行委員毎に年間スケジュール計画・役割決め
	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動①
6月	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動②
	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動③
	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動④
	サマーファッションコンテスト実施に向けた活動⑤
7月	サマーファッションコンテスト　事前審査会実施
	サマーファッションコンテスト事前準備・リハーサル
	サマーファッションコンテスト実施
9月	サマーファッションコンテスト　まとめ
	中・高校生ファッション画コンテスト表彰式実施に伴う活動①
	中・高校生ファッション画コンテスト表彰式実施に伴う活動②

留意事項	学生実行委員会には【学生イベント企画委員・学生広報委員・学生ECクラブ・サマーファッションコンテスト実行委員・卒業企画実行委員】が含まれる
教材、資料等	
評価方法 対象・比重	行事・イベント実施まで準備期間の取組み50%、行事・イベント実施日の取組み40%、出欠10%*取組み姿勢　優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。

学科名	プロフェッショナルデザイン科・ファッションビジネス科											
分類	必修	○	必須 選択		学年	1・2・3・4	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									単位			
イベント・学校行事									1単位			
担当教員	関連講師					科目区分	講義	5%	演習		実習	95%
授業目的	・社会人として必要とされる一般常識、知識、教養を身に付ける ・イベントや行事実施にあたって必要とされる企画・準備・実施を通し、社会性・協調性を身に付ける。 ・学校行事の運営を通して職業人としての責任と自信を涵養。											
到達目標	・担当、役割に応じた運営を行い、学科・学年を超えてコミュニケーションを取り合い、イベント・行事を成功へと導く。											

授業概要
習得した知識を実践方式で実習を行う。「知る」から「できる」への実習を行い、理解力を深める。 各行事・イベント毎に担当・指導する講師のもと、各自が自分で考え報・連・相を取りながら実習を行う。

授業内容（授業展開）	
時期	授業内容
10月	中・高校生ファッション画コンテスト表彰式実施に伴う活動③
	中・高校性ファッション画コンテスト　表彰式事前準備及びリハーサル
	中・高校性ファッション画コンテスト　表彰式実施
11月	中・高校性ファッション画コンテスト　表彰式　まとめ
	学生イベント企画　活動①　ドレスコードイベント
	学生イベント企画　活動②　ドレスコードイベント
	学生イベント企画　活動③　ドレスコードイベント
12月	学生イベント企画　活動⑤　スポーツ大会
	学生イベント企画　活動⑥　スポーツ大会
	卒業企画発表　実施に向けた活動①
1月	卒業企画発表　実施に向けた活動②
	卒業企画発表　実施に向けた活動③
	卒業企画発表　実施に向けた活動④
2月	卒業企画発表　実施に向けた活動⑤
	卒業企画発表　事前準備・リハーサル
	卒業企画発表　実施
3月	卒業企画発表　まとめ
	学生実行委員会に関して　次年度に向けた移行準備

留意事項	学生実行委員会には【学生イベント企画委員・学生広報委員・学生ECクラブ・サマーファッションコンテスト実行委員・卒業企画実行委員】が含まれる
教材、資料等	
評価方法 対象・比重	行事・イベント実施まで準備期間の取組み50%、行事・イベント実施日の取組み40%、出欠10%*取組み姿勢　優（90点以上）（GP 4点）、良°（89～80）（GP 3点）、良（79～70）、（GP 2点）可（69～60）（GP 1点）、不可（59点以下）の判定とする。